

呉工業高等専門学校	開講年度	平成28年度(2016年度)	授業科目	ドイツ語
科目基礎情報				
科目番号	0048	科目区分	一般 / 選択必修	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	電気情報工学科	対象学年	5	
開設期	通年	週時間数	2	
教科書/教材	小野寿美子『ブーメラン・エルエー』朝日出版社、2015年			
担当教員	西谷 明子			
到達目標				
1. 日常で使える会話を習得する。				
2. 形容詞、再帰動詞、接続詞を使うことができる。				
3. 動詞の三基本形を知る。				
4. 辞書を使って簡単な文章を読み、作文することができる。				
5. 動詞の三基本形を使いこなす。				
6. 中級文法を覚える。				
7. 辞書を使って簡単な読み物を読み、作文をすることができる。				
ループリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1	日常で使える会話を習得できる。	日常で使える会話をある程度習得できる。	日常で使える会話を習得できない。	
評価項目2	動詞、形容詞、再帰動詞、接続詞を使うこと適切にできる。	動詞、形容詞、再帰動詞、接続詞を使うことができる。	動詞、形容詞、再帰動詞、接続詞を使うことができない。	
評価項目3	辞書を使って簡単な読み物を読み、作文をすること適切にできる。	辞書を使って簡単な読み物を読み、作文をすることができます。	辞書を使って簡単な読み物を読み、作文をすることができない。	
学科の到達目標項目との関係				
教育方法等				
概要	初級ドイツ語文法と簡単な日常会話を習得する。中級への架け橋となる文法事項についても学び、簡単な読み物が読めるようになる。またドイツあるいはヨーロッパの文化や歴史についても理解を深める。			
授業の進め方・方法	教科書及び付属のCDを用いた講義。			
注意点	授業には毎回必ず辞書を持参すること。授業中でも授業後でも、質問があれば受け付けます。			
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	4年時の復習	話法の助動詞と分離動詞を中心に
		2週	Lektion 7	レストランで食事・支払い
		3週	Lektion 7	形容詞・副詞の比較、読み物
		4週	Lektion 8	週末の外出・過去の事柄
		5週	Lektion 8	動詞の三基本形・現在完了形
		6週	Lektion 8	現在完了形の練習、読み物
		7週	中間試験	
		8週	答案返却・解答説明	
後期	2ndQ	9週	Lektion 9	ヴァイマルで・過去の所在
		10週	Lektion 9	過去形
		11週	Lektion 9	再帰代名詞と再帰動詞
		12週	Lektion 9	読み物
		13週	Lektion 9	読み物
		14週	Lektion 9	練習問題
		15週	期末試験	
		16週	答案返却・解答説明	
後期	3rdQ	1週	前期の復習	動詞の三基本形を中心に
		2週	Lektion 10	冬休みに・予定の言い方
		3週	Lektion 10	zu不定詞
		4週	Lektion 10	関係代名詞
		5週	Lektion 10	関係代名詞
		6週	Lektion 10	読み物
		7週	Lektion 10	練習問題
		8週	中間試験	
後期	4thQ	9週	答案返却・解答説明	
		10週	その他の文法補足	受動態
		11週	その他の文法補足	状態受動
		12週	読み物	簡単な読み物を読み、ドイツ語への理解を深める
		13週	読み物	簡単な読み物を読み、ドイツ語への理解を深める
		14週	読み物	簡単な読み物を読み、ドイツ語への理解を深める
		15週	期末試験	
		16週	答案返却・解答説明	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	工学基礎	グローバリゼーション・異文化多文化理解	グローバリゼーション・異文化多文化理解	世界の歴史、交通・通信の発達から生じる地域間の経済、文化、政治、社会問題を理解し、技術者として、それぞれの国や地域の持続的発展を視野において、経済的、社会的、環境的な進歩に貢献する資質を持ち、将来技術者の役割、責任と行動について考えることができる。	2	前2

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	70	0	0	0	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0